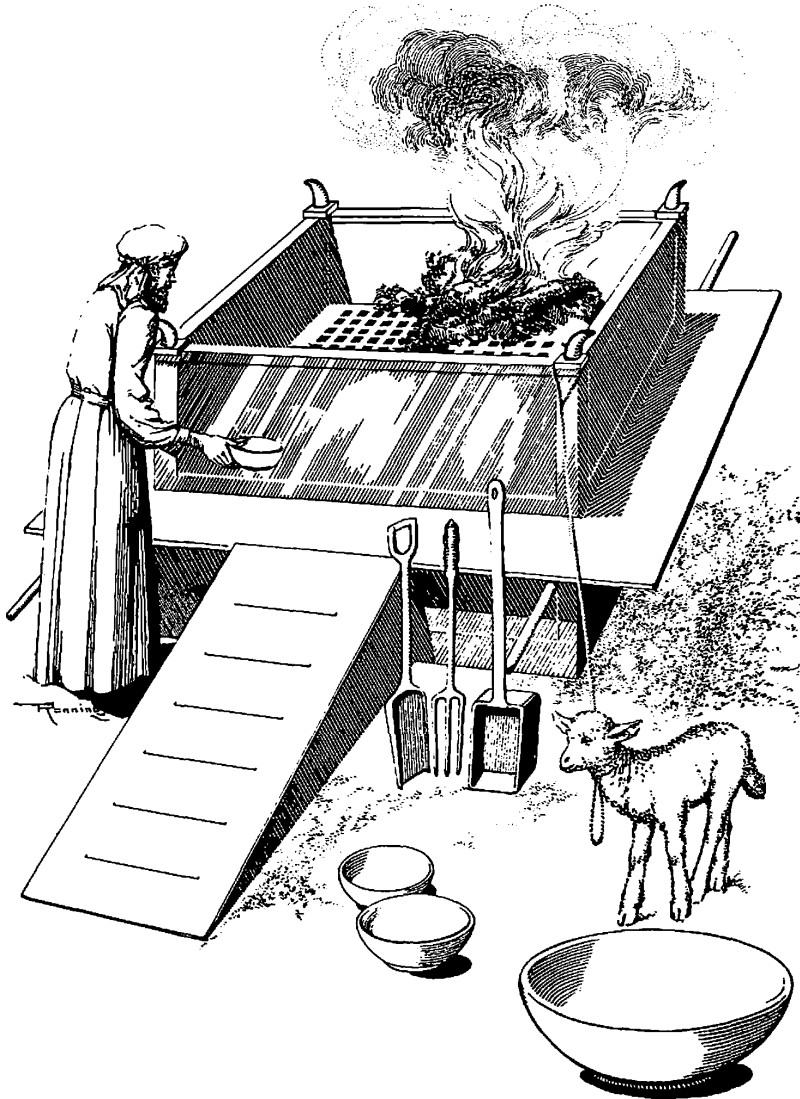


The Sanctuary The Path to the Throne of God P.73



This shows the brazen altar with its four horns, its grate where was placed the fire for the burnt offering, the compass on which the priest walked when sacrificing, and its approach which was "not by steps." Ex. 20:26.

これは、四つの角のついた真鍮(銅と亜鉛の合金、別名：黄銅)の祭壇、燔祭(全焼の生贄)のための火が置かれた火格子(ひごうし)、祭司が生贄(犠牲)を捧げる時の回廊への(階段ではない)スロープの図です。

Also one of the several sets of tools – the shovel, the flesh hook, the fire pan; and bowls for various uses.

また、シャベル、肉鉤(肉刺し)、火皿、様々な用途に使うボウル(鉢)など、いくつかの道具の一式が描かれています。

The lamb, symbol of the Lamb of God, is tied to a horn of the altar, waiting to be washed ready for the sacrifice.

神の小羊(イエス・キリスト)の象徴である子(小)羊は祭壇の角につながれ、犠牲とするために洗われるのを待っています。

Every part of this altar was of brass, symbol of victory through suffering.

この祭壇のすべての部分は真鍮でできており、苦しみを乗り越えた勝利の象徴を表しています。

→出エジプト記20：26 あなたは、階段を用いて祭壇に登ってはならない。あなたの隠し所があらわにならないためである(服の間からあなたの裸の部分が見えたりするといけなからだ)。

The Sanctuary The Path to the Throne of God P.84

The Laver with its foot located between the Brazen Altar and the door of the Sanctuary.

真鍮で覆われた祭壇と聖所の戸の間には、足[台]のついた洗盤が(置かれて)あります。

→brasen：真鍮の[製の・のような]



Like the Altar, both were of brass, but unlike the Altar, these were made of the brass looking glasses of the women. Ex. 38:8.

祭壇と同様に、共に真鍮製(注青銅ではない)でしたが、祭壇とは異なり、婦人が使っていた真鍮製の鏡を材料に作られていました。

Here the Priests washed their hands and their feet before entering upon any sacred service.

ここで祭司たちは、神聖な奉仕に入る前に手と足を洗いました。

They washed, not herein, but thereat, with water drawn from the Laver.彼らは、そこに手足を入れてではなく、洗盤から注がれる水で手足を洗いました。

Failure to be thus cleansed meant death, because the spiritual significance of the sacred service was thus disregarded. Ex. 30:18-21.みそぎをしないことは死を意味しました。なぜなら、神聖な奉仕の霊的な重要性(神聖な礼拝の霊的な意義)が無視されることになるからです。

→出エジプト記30：18～21 洗い清めるために、青銅の洗盤とその台を作り、臨在の幕屋と祭壇の間に置き、水を入れなさい。アロンとその子らは、その水で手足を洗い清める。すなわち、臨在の幕屋に入る際に、水で洗い清める。死を招くことのないためである。また、主に燃やしてささげる献げ物を煙にする奉仕のために祭壇に近づくときにも、手足を洗い清める。死を招くことのないためである。これは彼らにとっても、子孫にとっても、代々にわたって守るべき不変の定めである。

The Sanctuary The Path to the Throne of God P.166

The golden table had two borders, each mounted with crowns.

黄金の机(テーブル)には2つの飾り縁(仕切り)があり、それぞれに王冠の縁取りがされていました。

The shelf enclosed by the lower border provided a place for the golden dishes which were “upon the table” – the bowls, the saucers, the spoons, the flagons or pitchers and the chalices or goblets for the wine.

Ex. 25:29,37:11,12,16.

下の棚は、「机の上」にあった金の食器 – ボウル、受け皿、スプーン、(ワインを入れる)大きな瓶(フラゴン)または水差し(ピッチャー)、ぶどう酒用の杯またはゴブレット(取っ手のないグラス)を置く場所でした。

The Kohathites prepared the bread and brought it every Sabbath to a priest who set it in order at the table and put frankincense on each row. I Chron. 9:32; II Chron. 13:10,11, Lev. 24:5-8. ケハト族の人々はパンを準備し、安息日ごとに祭司のところに持って行き、祭司は(左図のように)机にパンを整然と並べ、各列に乳香を置きました。Christ was the Bread that came down from heaven. キリストは天から降ってきたパンでした。The wine represented His blood shed for us. John 6:48-56. ぶどう酒は私たちのために流されたキリストの血を象徴しています。Thus, the table was indeed “the pure table before the Lord.”このように、机はまさに“主の前に清い食卓”でした。

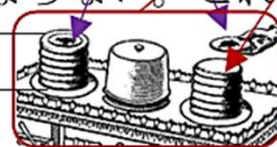
→レビ記24：5～6 あなたは上等の小麦粉を用意し、それぞれ十分の二エファの分量の輪形のパンを十二個焼く。それを一列に六個ずつ二列(→正：その十二個のパンを2つの山)に並べ、純金の机の上に置いて主の御前に供える。



☞口語訳→最も適切な表記がされている

5 あなたは麦粉を取り、それで十二個の菓子焼かなければならない。菓子一個に麦粉十分の二エパを用いなければならない。6 そしてそれを主の前の純金の机の上に、**ひと重ね六個ずつ、ふた重ねにして置かなければならない。**7 あなたはまた、**おのおのの重ねの上に、純粹の乳香を置いて、そのパンの記念の分とし、主にささげて火祭としなければならない。**8 安息日ごとに絶えず、これを主の前に整えなければならない。これはイスラエルの人々のささぐべきものであって、永遠の契約である。9 これはアロンとその子たちに帰する。彼らはこれを聖なる所で食べなければならない。これはいと聖なる物であって、主の火祭のうち彼に帰すべき永久の分である」。

ひと重ね六個

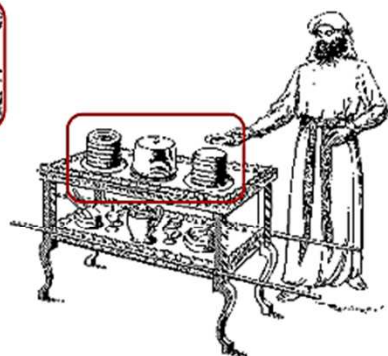


☞聖書協会共同訳

5 あなたは上質の小麦粉で、輪形のパンを十二個焼きなさい。一個あたり十分の二エファの量である。

6 主の前の純金の台に、**一列六個で二列に並べ、7 その列の傍らに純粹な乳香を添えなさい。その乳香はパンのための記念の分として、主への火による献げ物とな**

る。8 安息日ごとに、永遠の契約としてイスラエルの人々から受け取り、それを常に主の前に整えなさい。9 それはアロンとその子らのものになる。最も聖なるものだから、聖なる場所で食べなければならない。それは主への火による献げ物の中で、彼のものとなるとしえの取り分である。」



The Sanctuary The Path to the Throne of God P.175



The golden altar or prayer altar had four horns, representing the power of Christ available for all who have learned to pray; also a border of crowns indicating their reward.

黄金の祭壇または祈りの祭壇には四つの角があり、これは祈りを学んだすべての人々が享受できるキリストの力を表しています。また、冠の縁飾りは、彼らの恵み(報い)を示しています。

It was located just before the second veil, nearer to the mercy seat and the shekinah in the most holy place than any other article of furniture.

この祭壇は、第二の垂れ幕のすぐ目の前にあり、聖所内の他のどの調度品よりも贖いの座とシェキーナに近い場所がありました。

Here, morning and evening, with the prayers of saints, the high priest offered the incense, symbolizing the righteousness of Christ, which makes prayer acceptable and effectual. Ex. 30:6-8.

ここで、朝と夕、聖徒たちの祈りとともに、大祭司は香をささげました。香は、(神に)祈りが受け入れられ、祈りの効果をもたらすキリストの義を象徴しています。

The golden censer was kept with this altar when not used on the day of atonement. EW 251-252.

大贖罪日以外は、黄金の香炉はこの祭壇と一緒に保管されました。

The Sanctuary The Path to the Throne of God P.188

The candlestick, made of a talent of pure gold, weighed about 120 pounds(誤), valued at \$30,000.

燭台は、純金1タラント(出エ25:39 キカル≒34.2kg)で作られ、約120ポンド(54.4kg、約120ポンドは誤りと思われる)の重さがあり、価値は3万ドル([誤]約6億円→[正]3.8億円)でした。

It represent Christ, “the light of the world,” John 1:9, also His followers, who are to be “the light of the world.” Matt. 5:14. これは「世の光」(ヨハネ1:9)、つまりキリストを象徴しています。またキリスト者たちも同様に「世の光」となるべきです。Especially did the central shaft to which all the branches are joined, represent Christ who walks in the midst of the seven golden candlesticks.

特に、すべての枝がつながっている中央の軸は、七つの金の燭台の真中を歩くキリストを表しています。

→黙示録2：1 エフェソにある教会の天使にこう書き送れ。『右の手に七つの星を持つ方、七つの金の燭台の間を歩く方が、次のように言われる。

The candlestick had seventy ornaments, and the Lord send out the seventy to preach. Luke 10:1.

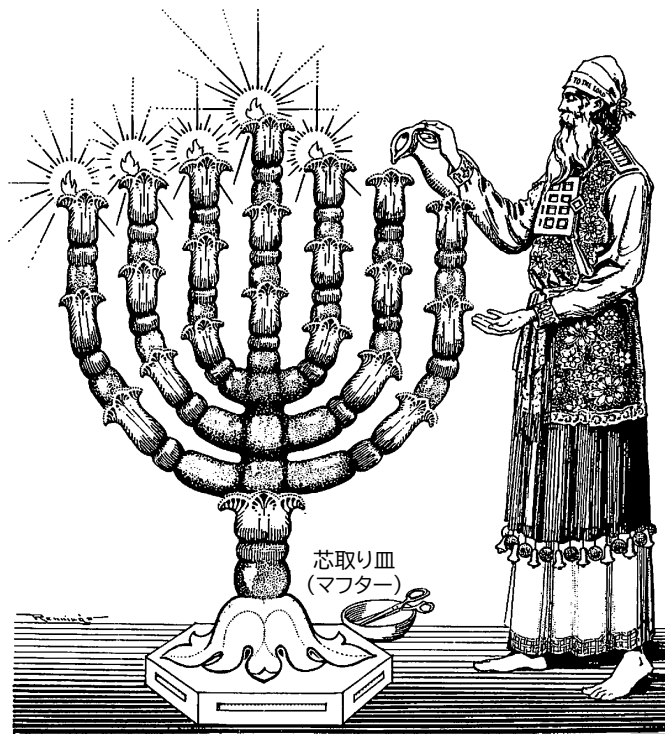
燭台には七十の飾りがあり、主は七十人を派遣し、宣教させました (KJV)。

→回復訳：七十人、新共同訳、口語訳、聖書協会共同訳：七十二人

The Sanhedrin also was composed of seventy of the leaders of Israel.

サンヘドリンも、イスラエルの指導者の70人(→議長、副議長、議員69人)で構成されていました。As the gold was beaten, so Christ and His faithful followers “shall suffer persecution.” II Tim. 3:12. 黄金が打ち砕かれたように、キリストとその忠実な従者たちも「迫害を受ける」こととなります。In the evening the high priest renewed the supply of oil; in the morning he trimmed the lamps with the snuffers, shown here below the lampstand. Ex. 30:7,8.

夕方には、大祭司が油を補給しました。そして朝は、燭台の下にある芯切り鋏(メルカーハイム、芯の燃え残りをつまんで切り取るためのはさみ)でランプを整えました。



The Sanctuary The Path to the Throne of God P.220



With humility the high priest, dressed in his plain white linen garments, entered the most holy place on the day of atonement.

謙虚な心持ちで、大祭司は贖罪の日に質素な白い亜麻の衣服を着て、至聖所に入りました。→大贖罪日における大祭司：次頁

On the mercy seat he placed the golden censer, the smoke from which dimmed the glory of the Shekinah,

贖いの座の上に、彼は黄金の香炉を置きました。その煙はシェキーナの栄光を薄暗くしました。

Within the ark, symbol of God's throne, are the tables of stone on which God engraved the Ten Commandments, the law by which all shall be judged.

神の王座の象徴である箱舟(契約の箱)の中には、神がすべての人を裁く十戒を刻んだ石の板が置かれていました。

The overshadowing wings of the cherubim "touch each other,"
ケルビムの覆いかぶさる翼は“互いに触れ合っています”。

EW 252, and “covered the mercy seat.” Ex. 37:9. Their heads bowed toward the ark, show their reverence for God's eternal law of love.

そして“贖いの座を覆”(出エジプト記37:9)っています。箱舟に向かって頭を下げたケルビムの姿は、神の永遠の愛の律法に対する敬虔さ(畏敬の念)を示しています。



大祭司の衣服は、普通の祭司(右下図)が着る①【白亜麻の祭服】の上に、②【青衣】Blue Robeを着用した。その裾には、金の鈴、青糸、紫糸、緋糸で出来たざくろの装飾がほどこしてあった。

また、青衣の上に、金糸、青糸、紫糸、緋糸等で織った③【エフォド(エポデ:口語訳)】Ephod(短衣)を着用した。

エフォドの上には、祭司服の中で最も神聖な④裁きの【胸当て】(エフォドと同材料)があった。正方形で、金の輪に結びつけられた青ひもで肩からつるされ、胸当てには金にはめ込まれた12の宝石が付けられていた。

この胸当ての中には、「ウリム」と「トンミム」と呼ばれる大きな宝石が入れられていた。

これによって神のみ心が大祭司を通して知らされた。問題が主の前に持ち出された時、右の宝石の周りに光輪がかかれば、神の承諾、左の宝石にかげりが出来れば否決とされた。

→出エジプト記28章

→ファイル:白い石(出エジプト記28:30)



大祭司以外の祭司は縫い目のない一つ織りの【白亜麻の祭服】を着用した。



出エジプト記 28 : 1~38

エフォド : 王の色（金、青、紫、緋色）で染められた毛糸と亜麻の糸で織られた胴着（腰にはベルト状の**付け帯**がある）で、肩紐には十二部族の名前が彫ってある2個の石が付けられている。

上着 : エフォド（胴着）の下には、青い毛糸で織った裾の長い上着を着た。

胸当て : 毛糸と亜麻のより糸でできた平たい袋状のもので、宝石を並べた12のポケットがある。

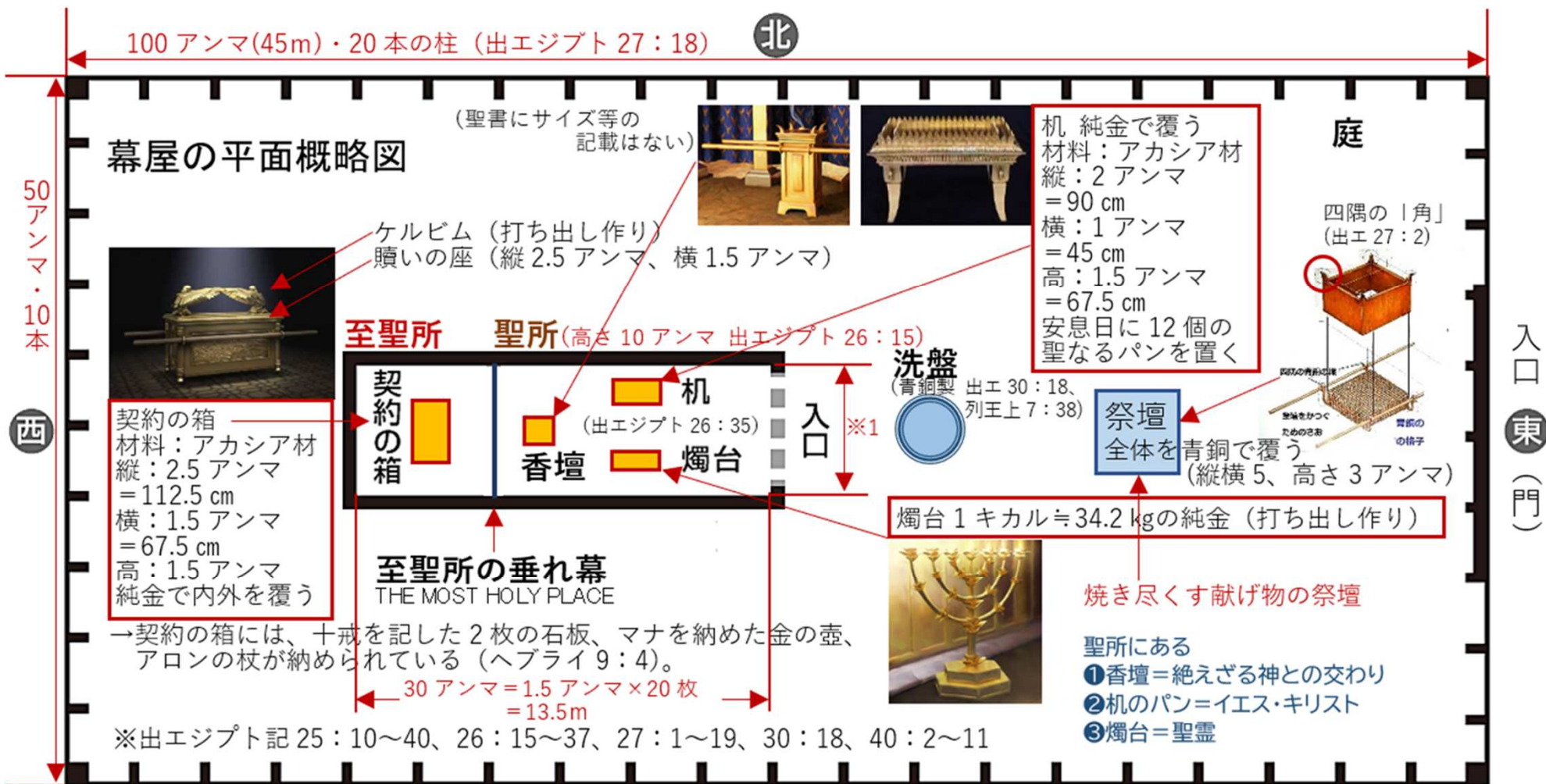
- ・ 第一列 : ルビー、トパーズ、エメラルド
- ・ 第二列 : ざくろ石、サファイア、ジャスパー
→（聖書協会共同訳）くじゃく石、ラピスラズリ、縞めのう
- ・ 第三列 : オパール、めのう、紫水晶
- ・ 第四列 : 藍玉（らんぎょく）、ラピス・ラズリ、碧玉（へきぎょく）
→（聖書協会共同訳）かんらん石、カーネリアン、碧玉

©Like The Master Ministries

レビ記16:30

新共同訳:なぜなら、この日にあなたたちを清めるために贖いの儀式が行われ、あなたたちのすべての罪責が主の御前に清められるからである。

口語訳:この日にあなたがたのため、あなたがたを清めるために、あがないがなされ、あなたがたは主の前に、もろもろの罪が清められるからである。



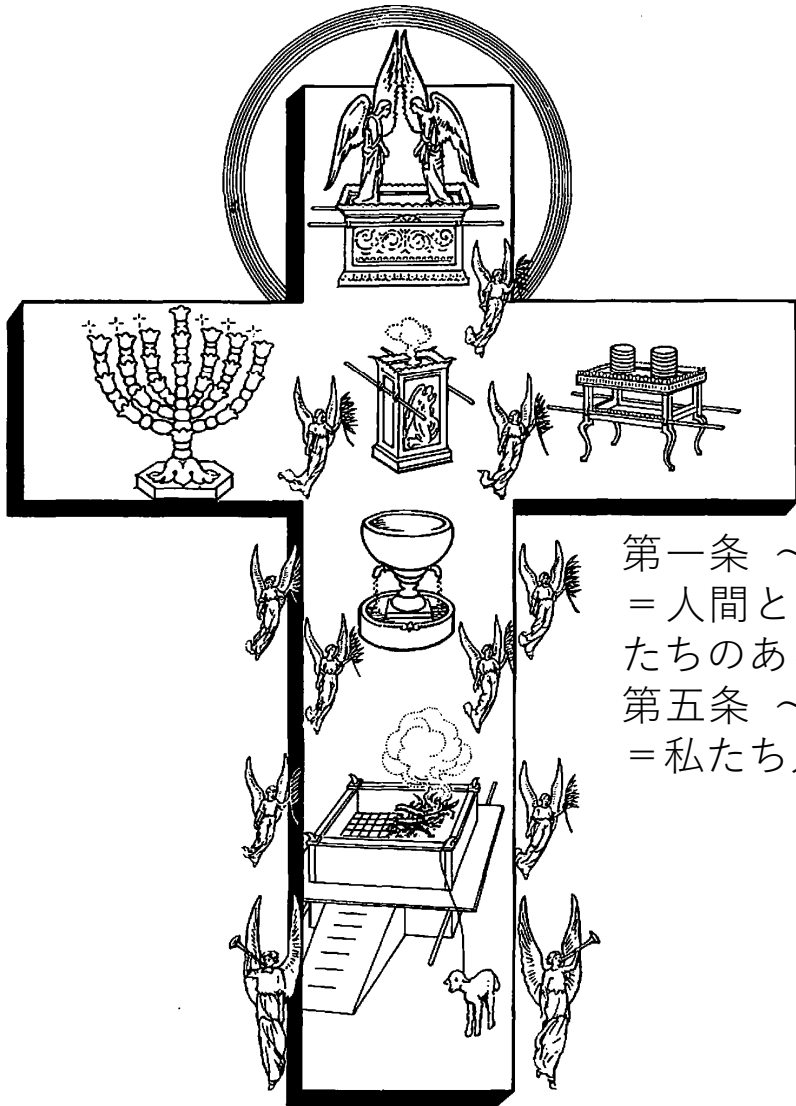
※1: 10 アンマ → (参考) 出エジプト 27:18、歴代誌下 3:3、3:8

→ 至聖所は 1 辺 10 アンマの正方形

西側: 6 枚の壁板 + 2 枚 (調整) → 1.5 アンマ × 6 枚、更に 10 アンマになるように板 2 枚で調整 (出エジプト 26:22、23)

② 1 アンマ = 45 cm として計算、縮小の割合は正確ではありません。

The Sanctuary The Path to the Throne of God P.363



"The Lord Jesus Christ in our own humanity was the true tabernacle."
 “主イエス・キリストは、私たち自身の人性を身にまとった真の幕屋でした。”
 Like Jacob's ladder which represented Jesus, so Christ the true tabernacle reaches from earth to heaven, and angels of God ascend and descend upon the Son of man.
 ヤコブのはしご（→ヤコブの夢で出て来る「階段」＝創世記28：10～12）がイエスを象徴しているように、真の幕屋であるキリストも地上から天へ動き、神のみ使いたちも人の子の上を上がったたり下がったり(昇り降り、上り下り)しています。

第一条 ～ 第四条：神に対する愛
 = 人間と神の関係（神に対する私
 たちのあるべき関係）
 第五条 ～ 第十条：人に対する愛
 = 私たち人間同士の関係

The Sanctuary ……
 The Path to the Throne of God
 神の玉座への道
 or THE GOSPEL ACCORDING TO MOSES
 モーセによる福音
 by Sarah Elizabeth Peck

SDA Sanda Christ Church R.Tsuji & H.Taniguchi
 2024.04.10

